

なかつがわ

平成30年 中津川市議会 5月臨時会・6月定例会



『なかつがわ五平餅まつり』で郷土の魅力再発見（7月六斎市にて）

目次

議会の構成	②
議案	③
予算決算委員会報告	⑥
常任委員会報告	⑦
各会派の平成29年度の取組目標と取組成果	⑧
各会派の平成30年度の目標と取組み	⑨
一般質問	⑩
平成29年度政務活動報告	⑬
議会開催状況／編集後記	⑮

トピックス

■紅岩山荘を民間譲渡

ええな
蛭川にある紅岩山荘が（株）恵縁中に譲渡され、7月8日（日）にオープニングセレモニーが開催されました。

■坂下分団第1が優勝…市消防操法大会

市の代表として8月5日（日）に郡上市で開催される岐阜県消防操法大会に出場されます。

5月臨時会は、5月18日に開催され、副議長選挙のほか、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任などを行いました。

議事の内容

- ・副議長選挙
- ・常任委員会委員の選任
- ・議会運営委員会委員の選任
- ・特別委員会委員の選任

議会の構成

議長 大堀寿延

副議長 三浦八郎



監査委員 榎松直子

〔常任委員会〕

◆総務企画委員会

◎森 益基◎勝 彰・佐藤光司
三浦八郎・榎松直子・田口文数
柘植貴敏

◆文教民生委員会

◎島崎保人◎鷹見憲三・吉村久資
粥川茂和・大堀寿延・木下律子
水野賢一

◆産業建設委員会

◎吉村孝志◎牛田敬一・鈴木清貴
鈴木雅彦・岡崎隆彦・吉村浩平

◆予算決算委員会

◎吉村浩平◎木下律子・議員全員

〔議会運営委員会〕

◎吉村久資◎田口文数・鈴木雅彦
岡崎隆彦・吉村浩平・島崎保人

〔東濃農業共済事務組合議会議員〕

大堀寿延・三浦八郎・森 益基

〔特別委員会〕

◆リニア中央新幹線対策特別委員会

◎水野賢一◎鈴木雅彦・大堀寿延
榎松直子・田口文数・勝 彰
吉村孝志

◆議会改革特別委員会

◎牛田敬一◎柘植貴敏・鷹見憲三
三浦八郎・木下律子・島崎保人

◆病院・医療等対策特別委員会

◎鈴木清貴◎佐藤光司・吉村久資
粥川茂和・岡崎隆彦・吉村浩平
森 益基

(◎委員長 ○副委員長)

議会党派

◆中津川市民クラブ 10名

岡崎隆彦・勝 彰・島崎保人
吉村孝志・森 益基・鷹見憲三
大堀寿延・吉村浩平・柘植貴敏
水野賢一

◆市民クラブ 3名

吉村久資・榎松直子・牛田敬一

◆新政会 2名

鈴木雅彦・三浦八郎

◆市議会公明党 2名

鈴木清貴・田口文数

◆市民ネット 21 1名

佐藤光司

◆無会派 1名

粥川茂和

◆日本共産党 1名

木下律子

財産の無償譲渡

(全会一致)

市情報通信ネットワーク整備事業で構築した光ファイバーケーブル設備及び付属設備を無償譲渡するものです。

・譲渡の相手方
岐阜市梅ヶ枝町2丁目31番地
NTT西日本岐阜支店

財産の譲渡

(賛成多数)

紅岩山荘に係る土地及び建物を民間事業者条件を付けて譲渡するものです。

・譲渡の相手方
中津川市蛭川5359番地2
株式会社恵緑中
・譲渡金額
1千5百万円

・譲渡の条件
○10年間は、市の地域振興及び観光拠点の用途で使用するこ

と。
○10年間は、市の承認を得ないで権利の設定をし、又は所有権の移転をしてはならない。

ため、廃止するものです。

中津川市税条例の一部改正

(賛成多数)

市が作成する計画に沿って中小企業が行う設備投資(償却資産)に対する固定資産税の3年間の特例措置を創設し、その特例率を0と規定するものです。

中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

(賛成多数)

子どものための教育・保育給付の認定を行ったときの支給認定証の交付が任意化されたため、支給認定証の交付を受けていない場合には、同内容を記載した通知による確認でよいこととされたため、改正するものです。

平成29年度中津川市繰越明許費繰越計算書の報告

一般会計は、青木斧戸線道路整備事業、リニア中央新幹線関連掘削整備事業等25事業。下水道事業会計は、中津川・坂本処理区の整備事業、下水道施設長寿命化対策事業の3事業の繰越明許費繰越計算書の報告です。

平成29年度中津川市水道事業会計予算繰越計算書の報告

水道事業会計は、上水道施設改良事業、水道施設耐震化事業、恵下第2配水池増設改良事業の繰越計算書の報告です。

中津川市蛭川保護施設の設置等に関する条例の廃止

(全会一致)

紅岩山荘を民間事業者に移譲する

地方財政の充実・強化を求める意見書（議員提案）（全会一致可決）

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢社会が進行する中での医療、介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行や大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

このため、2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、地方自治体の実態に見合った歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算等の充実と地方財政の確立を旨とすることが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。
4. 地域間の財源偏在性は是正のため、地方偏在性の小さい国税の地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めるとともに、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。
5. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかるとともに、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成30年6月27日

中津川市議会

◆◇上記「地方財政の充実・強化を求める意見書」は、次の宛先に送付しました。◆◇

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生・規制改革担当）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）

====平成 30 年度 市民と議会の対話集会（予定）====

日 時	会 場
11 月 5 日(月) 19：00～	健康福祉会館・神坂公民館・坂本公民館
11 月 6 日(火) 19：00～	蛭川公民館・福岡公民館・加子母公民館
11 月 7 日(水) 19：00～	阿木公民館・苗木公民館・山口公民館

ご来場いただき皆様のご意見をお聴かせください。

賛否の分かれた議案の議決結果

議案	氏名	会派	中津川自民クラブ										市民クラブ		新政	公明	ネ	無	共	議決結果		
			鷹見 憲三	大堀 寿延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	吉村 久貴	柳松 直子	牛田 敬一	鈴木 雅彦	三浦 八郎	鈴木 清貴	田口 文数		佐藤 光司	粥川 茂和
平成30年度中津川市一般会計補正予算(第1号)・(第2号)	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
中津川市税条例の一部改正について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
中津川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決
財産の譲渡について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決

※ 新政：新国会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、無：無党派、共：日本共産党

新図書館構想の早期実現を求める請願（全会一致採択）

【趣 旨】

市民の集う魅力ある街づくりの実現に向け、行政だけでなく、有識者、市民等第三者を交えた「新図書館構想検討委員会(仮称)」を設置し、更なる図書館機能の充実計画の策定、推進を図ることを切望します。

【請願理由】

現在の中央図書館は、改修などにより利用環境が部分的に改善されるとともに、図書館職員や市民ボランティア団体の努力により、利用者が年間16万人以上を続けています。また、済美図書館や各公民館図書室の機能も充実して来ています。

図書館にゆったりとした空間を持たせ、ハイブリッド図書館やIT活用の情報館としての機能を備える事も重要と考えますが、現図書館は、駐車場や施設の狭隘など大きな課題があるとともに、郷土資料や新しい図書の収蔵などが思うに任せない状態です。

リニア中央新幹線の中間駅開業を目指す中津川市として、生涯学習の拠点となる施設が存在することが、少子化を防ぎ、若者の移住、定住にもつながるものと考えます。

つきましては、中津川市総合計画や中津川市教育大綱計画、更には中津川市中心市街地活性化基本計画にも載せていくために、「新図書館構想検討委員会(仮称)」を早期に設置して頂き、計画立案と推進を図っていただくことをお願いいたします。

文教民生
委員会意見

- ・第三者を交えた新図書館構想検討委員会を立上げ、計画の立案、推進を図ってほしい。
- ・中央図書館は40年が経過し老朽化しており、新図書館建設を積極的に進めるべきである。
- ・図書館建設の請願は過去に3回提出され採択を受けているが実現に至っていない。新機能を備えた図書館は必要である。

予算決算委員会報告（補正予算）

（6月4日・21日）
（賛成多数）

平成30年度 6月補正予算の概要

下記の5つの編成方針により、予算が計上されました。

- ① 第三セクターの清算を行う事業
- ② 豪雨等により被災した施設等を復旧する事業
- ③ 国・県補助金等を活用する事業
- ④ 寄附金を財源とする事業
- ⑤ 緊急対応が必要な事業

■補正を行う会計

一般会計 1,252,264 千円

① 第三セクターの清算を行う事業 16,500 千円

- 観光施設管理事業
紅岩山荘民間譲渡に伴い、（株）ひるかわ企画の清算に必要な支援をします。

② 国・県補助金を活用する事業 1,075,846 千円

- 土地改良整備事業
- 社会資本整備総合交付金の獲得に伴う事業
 - ・橋りょう新設改良事業
 - ・道路維持補修事業
 - ・交通安全施設設置事業
 - ・道路新設改良事業
 - ・青木斧戸線道路整備事業
- 消防本部事務事業（訓練用水消火器整備）
- 中津川市の未来を担う人材育成事業

③ 寄附金を財源とする事業 9,101 千円

- 小学校教育充実事業
【寄付者】上田雅和（上田医院）様
- 中学校教育充実事業
【寄付者】（株）デンソーテンマニファクチュアリング様及びデンソーテン労働組合マニファクチュアリング支部様
- 公共施設整備運営基金管理事業
【寄付者】一般財団法人付知町振興公社様、きりら坂下運営協議会様
- ふるさとづくり応援基金管理事業

④ 豪雨等により被災した施設等を復旧する事業・・・ 65,400 千円

- 4月24日～25日及び5月13日の豪雨により被災した施設を早期に復旧します。
- 農地・農業用施設災害復旧事業
 - ・用排水路、農業用施設復旧工事1ヶ所
 - ・農道復旧工事1ヶ所
 - ・農地復旧工事6ヶ所
 - 林業施設災害復旧事業
 - ・林道施設復旧工事44ヶ所
 - 河川災害復旧事業
 - ・護岸復旧工事3ヶ所
 - ・土砂排土1ヶ所
 - 道路橋りょう災害復旧事業
 - ・路面復旧・法面補修工事4ヶ所
 - ・石積復旧工事1ヶ所
 - ・土砂排土2ヶ所

⑤ 緊急対応が必要な事業 85,417 千円

- 社会福祉総務事業
市障がい児総合支援施設の駐車場を整備します。
- 消防団員活動事業
退職消防団員155名に対し、市条例に基づき退職報償金を支給します。
- 道路新設改良事業
市道坂本290号線（坂本地区連絡道路）の事業認定を進めます。
- 文化振興事業
前田青邨画伯の作品を公有財産として取得します。

常任委員会報告

◆総務企画委員会

【所管事務調査】（消防本部） 4月23日

○消防行政に関する現状と課題について

消防行政に関する現状と課題について調査しました。

現状・課題

消防本部は、職員115名、消防車両27台となっており、消防団は、14分団で団員1870名、車両199台で対応しています。リニアへの対応、職員の増員、通信の広域化、消防団員の確保等多くの課題を抱えています。

今後の対応

厳しい財政状況の中で、住民の消防ニーズに答えるべく、効率的な事業を計画的に実施し対応します。

委員会のまとめ

限られた財源と体制で市民の消防ニーズに答えるためには、消防の広域化も含めて効率的な業務を推進すべく、現体制の見直しも含めて積極的に対応していく必要があります。

◆文教民生委員会

【所管事務調査】（生活環境部） 4月25日

○新衛生センターの現状と今後について

新衛生センター建設の進捗状況について調査しました。

現状

- (1) 建設用地の造成工事、進入路の橋梁、国道からの進入路整備が完了しています。
- (2) 新衛生センター稼働後も、一外部処理を委託する予定です。

今後の対応

建設工事
（平成30年度予算 6億7千9百万円）
(1) 法面保護工事 6月着工予定
(2) 土木、建築工事 7月着工予定
11月完成予定（鉄筋コンクリート地下1階、地上2階建約3千坪）
供用開始 平成31年12月予定

委員会のまとめ

発生汚泥処理の効率化のため、自区内処理など諸条件の検討を進める必要があります。

◆産業建設委員会

【所管事務調査】（農林部） 4月26日

○畜産振興（飛騨牛）の現状と課題・今後について

畜産振興（飛騨牛）の現状と課題・今後について調査しました。

現状・課題

肉用牛農家の高齢化や後継者不足により、平成25年より20戸の減少。繁殖農家は16戸の減少となっており、平均年齢62.1歳と高齢化が進んでいます。後継者がいる農家は11戸しかなく、今後の後継者人材の育成が課題です。

今後の対応

畜産農家の高齢化や後継者不足で経営が安定するように、環境整備や施設整備をJAや県などとの連携強化をしていく必要があります。

委員会のまとめ

後継者人材の育成など早急に対応策をまとめ、取り組んでいきたい。

平成 29 年度 各会派の政務活動費収支

(単位：円)

会派 使途基準	中 津 川 自民クラブ (10人)	市民クラブ (3人)	新 政 会 (2人)	市 議 会 公 明 党 (2人)	市 民 ネッ ト 21 (1人)	無 会 派 (1人)	日本共産党 (1人)
調査研究費	968,747	285,335	142,889	198,789	0	22,540	74,129
研修費	0	0	109,964	0	0	0	0
広報費	0	0	0	0	0	0	0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0
合計額 ①	968,747	285,335	252,853	198,789	0	22,540	74,129
市交付額 ②	1,200,000	360,000	260,000	240,000	120,000	100,000	120,000
返還額 (②-①)	231,253	74,665	7,147	41,211	120,000	77,460	45,871

各会派の平成 30 年度の目標と取組み

中津川自民クラブ

医療体制の充実について

- ・取組み理由：1市に二つの公立病院を有しており、財政的にも厳しい現実であり、効率的な医療体制を築けないう検討していく
- ・取組み内容：現状の医療体制（財源を含め）の見直しとともに、他市の医療体制も参考に検討していく。また、民間による運営体系も検討していく。

新公会

地域づくりのための政策提言について

- ・取組み理由：チェック機関のみでなく、住民の声を反映した意思決定機関の議会を目指す。
- ・取組み内容：積極的な情報の公開、住民の思いを知るための意見交換、議員間の自由討議、地域づくりのための政策提言

無会派

地域農業の振興について

- ・取組み理由：地域特性を活かした農業のあり方を推進する必要がある。
- ・取組み内容：まち協定中に、農業振興に係る組織を規定、地域農業ビジョンの推進、管理を可能にする。

市民クラブ

行財政改革について

- ・取組み理由：今後、大型事業が予定されている中津川市にとって歳出の削減は、喫緊の課題であり、財源が限られる中での市有施設の在り方や自治体における経費節減、効率化、および市民サービスの向上が行財政改革の柱となるため引き続き提言する必要があるため。
- ・取組み内容：市民サービスにつながる事業を検証する。

市議会公明党

市総合計画前期事業実施計画について

- ・取組み理由：総合計画前期3年目の最終年に当たり、進捗状況のチェック。
- ・取組み内容：計画通りに事業が行われているか検証する。

市民ネット21

文化振興について

- ・取組み理由：昨年同様、中津川市の歴史において、ゆかりの賢人を紹介し知名度の向上。
- ・取組み内容：葉山嘉樹について調査を行う。

日本共産党

学校給食の無料化について

- ・取組み理由：少子化対策として、学校教育の無償化の一つにするべき。
- ・取組み内容：先進事例の調査研究

各会派の平成 29 年度の取組目標と取組成果

中津川自民クラブ

人口減少対策について

- ・取組み理由：人口減少により、中津川市全体の活力・財源等に大きく影響することへの懸念
- ・取組み内容：定住・移住施策の積極的な推進、子育てへの手厚い支援、行財政改革、医療体制の維持充実に係る既存施策の見直し
- ・平成29年度における成果：全国的な問題であり、短期に解決できない対策です。他市等の政策も参考にしながら今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。

市民クラブ

行財政改革について

- ・取組み理由：地方交付税が減少する中で、歳出削減の重要性
- ・取組み内容：市有財産（施設）運用管理マスタープランの検証
- ・平成29年度における成果：行財政改革について歳出削減の重要性を提言。新居浜市の取組みも検証し、第3回・第5回の市議会定例会で市有財産（施設）運用管理マスタープランや指定管理者制度の在り方について一般質問を行いました。

新公会

地域づくりのための政策提言について

- ・取組み理由：チェック機関のみでなく、住民の声を反映した意思決定機関の議会を目指す。
- ・取組み内容：積極的な情報の公開、住民の思いを知るための意見交換、議員間の自由討議、地域づくりのための政策提言
- ・平成29年度における成果：チェック機関のみでなく、住民の声を反映した意思決定機関の議会を目指しました。このため、積極的な情報の公開、住民の思いを知るための意見交換、議員間の自由討議を重視しました。また、議会のみでなく地域の行事等を含めあらゆる機会に、地域づくりのための政策提言を実践しました。

無会派

まちづくりの推進について

- ・取組み理由：人口減少対策は喫緊かつ重要な課題であると考え。
- ・取組み内容：まちづくり推進協議会組織条例化と地方創生施策の検証
- ・平成29年度における成果：まちづくり推進協議会の設置推進条例を、検討することになりました。

市議会公明党

地方創生について

- ・取組み理由：人口減少により、労働力不足や消費の低迷
- ・取組み内容：中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証
- ・平成29年度における成果：会派の行政視察を行い、先進事例を学び、当市への導入の参考とさせていただきます。

市民ネット21

文化振興について

- ・取組み理由：中津川市にゆかりのある賢人を紹介し知名度の向上
- ・取組み内容：文化施設・賢人等の調査・研究
- ・平成29年度における成果：葉山嘉樹について、調査する予定でしたが、実施できませんでした。

日本共産党

地域公共交通の充実について

- ・取組み理由：高齢者の社会参加の促進、高齢運転者の事故対策
- ・取組み内容：県内外自治体のデマンドタクシーや交通手段の補助事業などの先進事例を調査・研究
- ・平成29年度における成果：先進自治体を視察後、一般質問に取り上げるなど、実現のために努力しました。

病院対策について

森 益基

問 広報なかつがわ6月号の坂下病院の現況と今後の欄には急速に進んでいく集約の様子が記載されていますが、先行きが不透明なだけに住民の不安は募るばかりです。そこで、通院で不便を余儀なくされている患者さんに対して、市民病院までの交通手段をどのように考えてみますか。

答 交通手段の確保については、地元の方々の強い要望であることは承知しています。しかし、実現には関係機関との協議や経費面などいくつかの課題があり、地元関係者の方々からも時間的猶予をいただけないというところで、引き続き病院間の直通バスや既存の公共交通機関を活用した方法等、最善の方法を検討していきます。

(病院事業部長)

行財政改革について

牛田 敬一

問 行財政改革は、財政面での経費削減と効率性と行政サービスの質を向上させることを目的として行われるものと認識しています。市民サービスの向上に関して、市民病院の対応の悪さについて、市長直行便が寄せられています。このような事例をどう生かすのか伺います。

答 内容が不適切な文章の発送、発送後の職員の対応がスムーズではなかった点について、この場をお借りしてお詫び申し上げます。この件に関して、しっかりと検証することは当然であり、なぜこうした形の中で、検討しきれなかったのか、正に市民サービス、患者さんの不安等に対して、担当部署としてしっかりと状況を確認することを強く指示しました。

(市長・病院事業部長)

防災について

田口 文数

問 全国各地で大規模な被害をもたらす災害が発生しています。災害対策基本法に基づき予防、応急、復旧、復興は国と地方公共団体の権限と責任が明確化されています。

①各地域の避難所マニュアルの作成は進んでいますか。

②緊急、災害時にスムーズに支援が可能となるヘルプマークを岐阜県が平成29年8月に配布しました。障がい者、介護を必要とする方に配布の推進をはいかがでしょうか。

答 ①避難所開設・運営マニュアルは、基本となるひな型を作成し、ひな型を基に各指定避難所の実情に合わせた個別のマニュアル作成を進めており、平成29年度末現在で17箇所の指定避難所が作成済みです。

(生活環境部長)

②市内の総合事務所、地域事務所、公共施設等にポスター、チラシを配布し、日常的なヘルプマークへの理解と普及に努めています。

(健康福祉部長)

市民病院と農政への市民要望について

粥川 茂和

問 JRダイヤと市民病院行の北恵那バスの連絡が悪く、時間帯によっては、中津川駅での待ち時間が1〜2時間もあり、治療通院の市民から改善の要望を受けています。

また国道257号の追分信号に、矢印表示の機能を付け、北進車が多い時間帯でも右折可能とする要望もあります。所管部はこのことを承知し、改善の手立てを講じていますか。

答

時刻はJRの上下線や各方面からの路線バスの到着時刻も考慮し設定されていますので、多少の待ち時間はあります。今後も利便性を向上させるため、交通事業者と連携し乗り継ぎ時間を短縮出来るよう調整を図ります。

(定住推進部長)

時間帯によって苗木方面からの車両が、市民病院方向へ右折しにくい状況にあり、信号のサイクル調整をはじめ、交通量調査を基にした矢印信号機の設置に向けて中津川警察署に要望しています。

(基盤整備部長)



人口減少・少子高齢化による影響について

吉村 孝志

問 人口減少・少子高齢化による、地域への影響の中で、市から依頼される役職や町内会の役職は、どの役も大切だと思いますが町内会の大きさが違ってもほぼ同じ役職が必要となります。小さな町内会では、何とかしてほしいという声があります。今後人口減少が進むことにより、市内全体にも影響してくる問題だと思えますが、この先、市依頼の役職も含めて、どうしていきたいか伺います。

答

市が関係するものや、国・県並びに各種団体が依頼している役職については、必要であると考えますが、人口の減少など地域の事情を考慮することも必要ですので、関係部署とも協議してまいります。

地域のあり方については、地域の自主性、意向を尊重して、地域事務所も間に入り相談にのりながら対応していきます。過去には区を合併した例や、行政区を再編した例、逆に区を分割した例もあります。

(定住推進部長)



東美濃ナンバーの市民意向調査と今後の工程について

吉村 久資

問 4月25日の東美濃ナンバー実現協議会の合意にて、多くの市長から住民への意向調査の意見が出されました。中津川市も市民に見える形で事を進めるべきと考えます。中津川市の住民意向調査への考え方と今後の市民への情報周知方法と活動計画の工程について伺います。

答

中津川市の住民意向調査への考え方については、再度住民アンケートを実施し、市民の意向がわかるよう実施すべきである旨、協議会へ申し入れています。また、今後の市民への情報周知方法と活動計画の工程については、引き続きチラシの配布、のぼりや横断幕の掲示、広報誌やホームページでのPRに加え、7月下旬に講演会、8月に新たなチラシの全戸配布、各イベント会場でのPRなど周知活動を行ってまいります。その上で、住民の意向確認を行い、導入申込期限の9月28日までに導入申込書の提出を行いたいと考えています。

(政策推進部長)



平成 29 年度 各会派の政務活動報告

中津川自民クラブ

日 程：平成 29 年 8 月 23 日(水)～24 日(木)
視察先：新潟県南魚沼市・長野県中野市
内 容：・全国のモデルケースとなる中心市街地活性化事業
・移住・定住施策(首都圏で開催する移住セミナーなど)
成 果：・地域が一体となり、また主体となり事業を行っており、このことがまちづくりの成功に繋がることが理解できました。
・首都圏で行う移住・定住セミナーに使用する市の紹介 DVD、先輩移住者が行う移住相談など参考となることが多くありました。

日 程：平成 29 年 11 月 13 日(月)～15 日(水)
視察地：山梨県上野原市・山梨県北杜市
内 容：・公共交通の先進事例である「上野原市地域公共交通総合連携計画」
・人口減少を見据えたまちづくりと移住定住施策
成 果：・上野原市地域公共交通活性化協議会が、地域の実情に合った取組み(デマンドタクシー、利用登録制など)を実施しており参考になりました。
・「平成 29 年度住みたい田舎全国 1 位」に選ばれた市でもあり、移住者の立場に立った魅力ある事業に取り組んでいました。



日 程：平成 30 年 1 月 23 日(火)～24 日(水)
視察地：奈良県五條市・宇陀市
内 容：・中心市街地の観光と街並み及び景観整備などの取組み
・少子高齢化に伴う地域包括ケアシステム構築
成 果：・奈良県とまちづくりに関する連携協定を結び、県と一体となる基本構想・基本計画を策定(県補助 50%)し、まちづくり施策を推進していました。
・医療と介護のネットワーク会議を定期的に開催し、保健所・医師会・市立病院・ケアマネージャー等で情報共有を図っていました。

無会派

日 程：平成29年7月26日(水)
視察先：大阪府箕面市
内 容：市独自制度「社会的雇用」による障がい者の自立支援について
成 果：箕面市は昭和61年度以来市単独予算により、障がい者雇用助成制度を継続運営しています。
10～20年後の追跡調査の必要性を学ぶことができました。



日 程：平成30年1月15日(月)
視察先：三重県庁
内 容：社会的事業所創業支援モデル事業について
成 果：障害者雇用率向上支援の事例として参考になりました。



中心市街地活性化対策について

鈴木 清貴

問

①街中の居場所づくりとなる施設である複合施設の建設計画を早期に着手すべきと考えますがご見解を伺います。
②複合施設には是非とも図書館機能を入れるべきと考えますが「所見を伺います」。
③美術館建設の構想も必要と考えますが「所見を伺います」。

答

①市民の皆様は日常的にご利用いただける複合施設を計画しており、平成35年度の供用開始を目指し、具体化していきます。
②現在「子育て支援」「交流」「観光情報」「学び」の各機能を想定しており、図書館機能はこれらと有効的に繋がるものと考えます。今後、市議会をはじめ市民の皆様の声を受け止め、検討を進めます。
③同計画の「歴史・文化エリア構想策定事業」の中で、美術館建設についても一定の方針を示したい。

(商工観光部長)



救急無線談合における違約金請求について

佐藤 光司

問

本年3月、住民監査請求書が提出され、過日監査請求が棄却されました。監査請求の内容は「メーカーによる談合の事実を公正取引委員会が独占禁止法違反と認定し排除措置命令及び課徴金納付命令が出されたことから、中津川市は関係業者に損害賠償請求をすべきとして監査請求を行ったと私は理解します。監査請求棄却の理由を伺います」。

答

今回の請求については、工事受注者とメーカの間で談合が行われたことを示す証拠が確認できなかったため、市が損害を受けたと断定することは困難であり、監査結果としては棄却となりました。

(総務部長)



坂下病院は現状のまま存続を

木下 律子

問

2年前、病院事業部が診療所化を提案してから市長方針、新公立病院改革プラン、平成29年度の見直しなどその度に方針が変わり、縮小化が進む。これからは見直しがある。住民は見直しの度に不安になる。「市長から直接説明が聞きたい」との声に応えるべきではありませんか。現状のままの存続はできませんか。

答

①方針に沿って公立2病院の再編に取り組んでいますが、これまでの状況及び今後の医師確保状況などから方針の見直しを検討しています。坂下病院に対する皆さまのご意見やお気持ちに分かれていく状況であり、一部の方だけにお願いして説明する時期ではないと考えています。
②現状の病床100床のまま維持することは、できません。この体制を維持するための医師が不足しています。また医療スタッフの確保ができませんので考えています。

(市長)

(病院事業部長)



市議会公明党

日 程：平成29年8月22日(火)～8月24日(木)

視察先：新潟県南魚沼市・長野県中野市

内 容：「市街地空間の整備」について

成 果：「牧之通り組合」は、住民の理解と協力がなければできない事業です。
商店街の組合長のリーダーシップの存在が大きいと思いました。



日 程：平成29年 11月13日(月)～11月15日(水)

視察先：山梨県上野原市・東京都永田町・山梨県北杜市

内 容：公共交通の現状と課題について

成 果：公共交通機関では、利用困難な方にデマンドタクシーが最適だが市の負担が大きい。

日 程：平成30年1月23日(火)～1月24日(水)

視察先：奈良県五條市・宇陀市

内 容：地域包括ケアシステム構築の現状と課題及び今後について

成 果：県下最大の病床数の地域包括ケア病棟の運営をし、地域連携課を開設してきめ細かな相談ができる体制が充実している。健康ポイント事業が検診率向上に繋がっているのが良い。



日本共産党

日 程：平成29年7月5日(水)～7月6日(木)

視察先：長野県小諸市・御代田町

内 容：地域交通について (デマンドタクシー・タクシー利用券)

日 程：平成29年7月19日(水)～7月20日(木)

視察先：茨城県稲敷市・笠間市・桜川市

内 容：地域交通について (デマンドタクシー・タクシー利用券)



日 程：平成29年11月22日(水)

視察先：岐阜県神戸町

内 容：地域交通について (タクシー利用券)

成 果：先進的な取り組みを一般質問に生かすことができた。より充実した地域交通の実現が高齢者の足の確保、福祉向上、健康推進につながる。引き続き実現をめざして取り組みたい。

平成 29 年度 各会派の政務活動報告

市民クラブ

日 時：平成29年7月26日(水)～7月28日(金)

視察先：愛媛県大洲市・松山市・新居浜市

内 容：大洲市ええもんセレクション認定制度・選挙コンシェルジュ

・アセットマネジメント

新居浜市：アセットマネジメント

当市の市有財産(施設)運用管理マスタープランと新居浜市の取組みを調査し、当市の取組み状況を検証する。

成 果：施設の長寿命化やライフサイクルコストの縮減、将来更新費用の平準化等による財政負担の軽減に向け基本方針を定め、保全マネジメントシステム：BIMMS(ビームス)を導入。当市もビームスを研究する価値があると考え。施設の統合・再配置・個別計画などは、当市の方が具体的に進められていると感じた。



新政会

1 先進地視察

日 程：平成29年7月24日(月)～26日(水)

視察先：大分県豊後高田市

内 容：豊後高田市学びの21世紀塾事業について

成 果：市民との協働による切れ目ない様々な学習支援や体験活動の支援の取組みにより、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うという目的がされています。また、この取組みに対して、市民ぐるみの取組みに発展していることが確認出来ました。



視察先：宮崎県日南市

内 容：テナントミックスサポート事業について

成 果：中心市街地の活性化も、他のまちづくりと同じく、そこに暮らし・生活を営む人たちを中心とした「人」の「意識」に負うところが大きいことを教えられました。また、補助金・交付金や箱物類りのまちづくりから、地域の皆さんの意識を高めたところから始めることが、大切だということが確認できました。



2 研修 地方議員研究会

日 程：平成29年11月4日(土)

場 所：東京都千代田区

内 容：1.いま求められる自治体の安全・安心への取組み
2.議会(議員)の政策づくりのポイント

第二中学校3年生が 市議会議場を見学 (平成30年5月9日)



議場見学の様子

修学旅行の東京研修で国会議事堂見学が計画されており、その事前学習のため議場を見学。生徒の感想として「緊張する空間」「国会と市議会の違いを勉強したい」「モニターなど知らないことがあった」など、議会に寄せられています。



ゴールテープを切る当市議会チーム

第3回清流木曽川 中津川リレーマラソン大会に 市議会チームも出場しました (平成30年5月27日)

ハーフマラソンの部に議員7名、議会事務局3名が出場。1周2.1kmを10周しました。

ハーフ一般部門での結果は、タイム1時間59分40秒で部門66位でした。

出場した議員の感想はみなさん「キツかった。エラかった」でした。日頃の運動不足を実感したようです。

本会議
総務企画委員会
文教民生委員会
産業建設委員会
予算決算委員会
議会運営委員会

(5回)
(2回)
(2回)
(3回)
(2回)
(8回)

議会開催状況 3月29日～6月28日

8月30日(木) 10時 本会議(初日)
9月10日(月) 10時 一般質問
9月11日(火) 10時 一般質問
9月13日(木) 10時 文教民生委員会
9月14日(金) 10時 産業建設委員会
9月18日(火) 10時 総務企画委員会
9月19日(水) 10時 予算決算委員会
9月26日(水) 10時 本会議(最終日)

平成30年9月定例会の日程

編集後記

▼5月臨時議会で、正副議長や常任委員会・特別委員会など議会の構成変更がありました。議会だより編集委員会も2人が入れ替わりました。
▼市民の皆様にご意見をいただけるようにしようと全員で取り組んでいます。ぜひご感想やご意見を議員や議会事務局にお寄せください。
▼NHKの朝ドラ「半分、青い。」は東濃地域が舞台になっていることもあり、議会として応援しようと「けんぱちポロシャツ」(上半分を青色、下半分を白色の手染め)を全員購入し、議会初日と最終日に着用しました。



新しい議会報編集委員

左から 吉村孝志副委員長 吉村久資委員 鈴木雅彦委員
田口文数委員長 森 益基委員 木下律子委員